講義名	オ)教養特講Ⅰ（経済情報学科へのいざない）				
担当教員	上田　真由美／内山　勝久／岸野　啓一／ 上瀧　真生／澤田　清／竹内　信行／ 羽森　直子／平越　裕之／三石　貴志／				
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 ４時限		授業形態	講義	
履修開始年次	１年生	単位数	2	備考	

主題と概要

※PDFファイルでは全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．
※重要事項を「備考」に記載しています．必ず確認してください．
※教養特講Ⅰ（経済学科へのいざない）および教養特講Ⅰ（経済情報学科へのいざない）の基本的なねらいは同じです．このため，共通のシラバスで実施します．ただし，授業計画の一部が学科ごとに異なるので注意してください．

本科目のねらいは，皆さんが今後４年間かけて経済学部の経済学科および経済情報学科のディプロマ・ポリシーに掲げた資質・能力を獲得するのために，自分にとって必要な学びやその道筋のヒントを得ることです．

本科目では，各学科の学びの概要を紹介するとともに，開講年度において学科専門科目を担当している教員が１回ずつ順番に，1）自己紹介，2）開講年度に担当している科目や関連科目の紹介（概要，学科やコースでの学びの位置づけなど），3）担当科目や関連科目に関わるトピックスやおすすめ科目の紹介，などを行います．なお，本科目ですべての専門科目を紹介することはできません．紹介されなかった科目は，各自でシラバスを参考に内容などを確認してください．

学科専門科目の担当教員は，次の通りです（敬称略・順不同）．経済学科の内山勝久*／岸野啓一*／上瀧真生*／辻　美代*／中島孝子*／羽森直子*／三谷哲雄*／八木雅史*／丸山亜希子／三原裕子*／村上友章*／竹内信行*／植松宏之，経済情報学科の上田真由美*／澤田　清*／平越裕之*／三石貴志*／森澤龍也*／岡　陽，そのほか多数の他学部教員です（*：本講義を担当する教員）．

到達目標

受講生は，将来の夢や目標（なりたい自分）に向けた４年間の学びの道筋を考えるために必要な経済学部での幅広い学びについて「知る」ことができるようになる．さらに，自分にとって必要と思う科目，興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことができるようになる．

提出課題

各回の担当教員により異なります．提出方法も，授業時間内での提出やRYUKA Portalや印刷物での後日提出など様々です．担当教員からの説明を聞いてください．

最終回には，到達目標の確認をするための最終課題（レポート形式）を授業時間中に実施します．

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

各教員ごとに，学生からの問い合わせに応じて適宜対応します．

評価の基準

代表教員が，各回の担当教員の評点（10点満点）を取りまとめ，合計点数（満点は10点×教員数）を計算します．その合計点数を100点満点に換算したものが成績となります．各回教員ごとの評点は，出席，授業参加度，授業に対する感想，課題レポート，小テスト，など教員ごとに異なります．なお，最終課題（５点満点）は，成績にそのまま加点します．それが，最終的な成績となります．

履修にあたっての注意・助言他

(0) 実施内容

教養特講Ⅰ（経済学科へのいざない）および教養特講Ⅰ（経済情報学科へのいざない）の基本的なねらいは同じです．このため，共通のシラバスで実施します．ただし，授業計画の一部が学科ごとに異なるので注意してください．

(1) 本科目の位置づけ

この科目の科目区分は，「全学共通科目／教養科目／教養一般・教養特講」（最低必要単位数は8単位）です．この科目区分には，本科目以外にも多くの教養科目が開講されています．「本科目の到達目標くらいのことは，自分でできる」という学生は，履修する必要はありません．その場合は，この科目区分に含まれる他の科目を履修してください．

ただ，本科目のような学科専門科目の全体像を知る機会は，ほかにありません．学科の学びの内容をある程度知っている場合でも，個々の専門科目の担当教員や担当科目のことを知っていると，今後の科目履修の参考になるだけでなく，２年生から始まる専門演習（通称，ゼミと呼ばれる特別演習科目）の選択にも役に立つはずです．その意味でも，履修することを強くお勧めします．

(2) 出席の重要性

原則として，毎回異なる教員が，異なる内容で講義を行います．経済学部および各学科全体の学びの内容の理解のためには，全教員の講義に出席することが重要です．さらに，各教員から出される課題を提出するのも困難となります．したがって，欠席すると到達目標に届かず，0評価（本科目の単位は未修得）となる可能性が高まります．

教科書

.使用しない．．				

プリント資料及び参考文献

必要に応じて各回の担当教員が指示します．講義で配布された資料は，他の回でも使用するかもしれません．また，大学より配布された「履修要項」や「科目一覧表」などの資料は，本講義における科目確認などで利用する機会があるかもしれません．これらの資料は，毎回，持参しておいてください．

授業計画

```
01  ：  イントロダクション
    内容       1．本資料にて講義概要の説明
               2．経済学部の学びと各学科の位置づけ
               3．各学科の学びの概要
               4．コースの概要
               5．次回以降の内容の説明
    講義資料   01-0  本科目の概要 （この資料）
               01-1  経済学部の学びの特徴／各学科の教育課程の特徴／各学科の２コースの概要
               01-2  参考資料－１  経済学部の教員一覧表
               01-3  参考資料－２  経済学部に関わる専門科目一覧表
               01-4  参考資料－３  身につくこと・将来像ごとの専門科目とその履修系統図
02  ：  次回以降の準備
    内容       1．教員プロフィールの確認方法
               2．科目シラバスの確認方法
               3．各自で準備作業   ・必ず履修しなければならない学部専門科目のチェック
                                   ・配布資料などを参考に興味や関心のある科目のチェック
                                   ・各教員や担当科目シラバスの下調べ（次回以降も随時実施）等
03 ～ 14  ：  各教員による講義
15  ：  最終課題（到達目標の確認）
```

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
○	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

教員ごとに異なります．

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

[01]　　配布資料とともに履修要項や科目一覧表などを参考に学びの概要を復習（４時間程度）
[02~14]　各教員のプロフィールや担当科目，科目概要，自分の興味や関心事項などを予習・復習（各４時間程度）
[15]　　最終課題の内容に基づき詳細な授業計画を作成（４時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卒業認定・学位授与の方針（DP:ディプロマ・ポリシー）に示されている要件に対する当該授業科目の寄与の程度を行頭の [] 内に４段階（０～３）に分けて記載する．各段階の意味は，教務部の指示に従った．

(1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材
[0] 夢や志を持ち、明るく元気でどこに出ても物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜くことができる．

(2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
[0] 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる(情報収集力)
[0] 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）
[0] 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる(課題発見力)
[0] さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や段取りを明らかにした上で、具体化することができる(構想力)

(3) 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材
[0] 新しい視点と豊かな発想によって、新しい価値を生み出すことができる

(4) 自主・自立の精神を持った人材
[0] 物事に自ら進んで取り組むことができる
[0] 自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げることができる
[0] 自ら課題を設定し、それを解決に結びつけることができる

(5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
[0] 他者に働きかけ、協力を取りつけることができる
[0] 他者との意見の違いや立場の違いを理解し、協力して物事を進めることができる

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教員ごとに異なります．

実務経験の有無及び活用

教員ごとに異なります．

備考

__
(1) 授業運営方針

1) 開講方法
この科目は，対面授業とオンデマンド授業を並行開講する科目です．対面授業で受講する学生は，指定された教室で受講します．オンデマンド授業で受講する学生は，PC画面や書画カメラの映像などを音声と共に録画した授業動画を視聴します．なお，授業動画の視聴方法や課題の内容・提出方法などは，各授業の担当教員の指示に従ってください．